

狂おしいほどの恋か、狂気の天才か。
伝説を生む
ドラマティック・バレエ!

Hamburg Ballet
John Neumeier

2018年日本公演

ハンブルク・バレエ団

椿 姫

Lady of the Camellias

2018 2/2 (金) 18:30 3 (土) 14:00 4 (日) 14:00

ガラ公演 | ジョン・ノイマイヤーの世界 2/7 (水) 19:00

The World of John Neumeier

ニジンスキー

Nijinsky

2/10 (土) 14:00 11 (日) 14:00 12 (月・祝) 14:00

演奏:「椿姫」は東京フィルハーモニー交響楽団、「ジョン・ノイマイヤーの世界」と「ニジンスキー」は特別録音による音源を使用します。

東京文化会館 (上野)

バレエ・オペラは
NBS

前回公演は、連日の熱狂的なスタンディング・オベーション。 大人の観客をとりこにする、至高のバレエ。

いま目の肥えたバレエ・ファンから絶大な支持を寄せられている、巨匠振付家ジョン・ノイマイヤー率いるハンブルク・バレエ団。鋭い美意識のもと、現代人の心理をとき明かしていくノイマイヤーの緻密なドラマティック・バレエは、現代バレエ界の最高峰と称されています。一昨年、7年ぶりの来日公演は圧倒的な感動を呼び、連日が熱狂的なスタンディング・オベーション。その評判はバレエ・ファンの間でSNSなどを通してまたたく間に拡散され、ハンブルク・バレエ団がどれほど待たれていたかを如実に示したのです。

その興奮もさめやらぬ2018年、ノイマイヤー作品の中でもっとも高い人気を誇る二つの傑作——「椿姫」「ニジンスキー」と、前回大きな反響を呼んだガラ公演(ジョン・ノイマイヤーの世界)を携えて日本公演が実現します。

「椿姫」は、恋愛を通して若者たちが自己をみつめ葛藤するさまを鋭く描き、デュマ・フィスによる原作の表現においては有名なヴェルディの同名オペラを越えるとも称されています。「ニジンスキー」は、バレエ史上の神話である、狂気の人オニジンスキーの人生と内面を大きなスケールで描きだす、究極のマスターピースです。またノイマイヤー自身のナレーションでつづる(ジョン・ノイマイヤーの世界)は、数々の名作の場面を通して巨匠振付家の創作のエッセンスを明らかにしながら、観る者を押し寄せる感動の嵐に包んでいきます。至高のバレエ芸術の世界を、ぜひご堪能ください!



Lady of the Camellias

椿姫

(プロローグ付全3幕)

2018	2/2 (金)	(マルグリット)アリーナ・コジョカル / (アルマン)アレクサンドル・トルーシュ
	18:30	(マノン)シルヴィア・アッツォーニ / (デ・グリュ)アレクサンドル・リアブコ
	3 (土)	(マルグリット)アンナ・ラウデル / (アルマン)エドウィン・レヴァツォフ
	14:00	(マノン)カロリーナ・アグエロ / (デ・グリュ)クリストファー・エヴァンズ
	4 (日)	(マルグリット)エレヌ・ブシェ / (アルマン)クリストファー・エヴァンズ
	14:00	(マノン)有井舞耀 / (デ・グリュ)カレン・アザチャン

The World of John Neumeier

ガラ公演 | ジョン・ノイマイヤーの世界

(2部構成)

2/7 (水) 19:00 ハンブルク・バレエ団 総出演

Nijinsky

ニジンスキー

(全2幕)

2/10 (土)	(ニジンスキー)アレクサンドル・リアブコ
14:00	(ディアギレフ)イヴァン・ウルバン / (ロモラ)エレヌ・ブシェ
11 (日)	(ニジンスキー)アレクサンドル・トルーシュ
14:00	(ディアギレフ)カーステン・ユング / (ロモラ)カロリーナ・アグエロ
12 (月・祝)	(ニジンスキー)アレクサンドル・リアブコ
14:00	(ディアギレフ)イヴァン・ウルバン / (ロモラ)エレヌ・ブシェ

NBSのホームページにより詳しい配役を掲載しています。

※記載の配役は2017年8月1日現在の予定です。ダンサーの怪我、カンパニーの都合等で変更になる場合があります。出演者変更にもなるチケットの払い戻し、公演日・券種の変更はお受けできません。正式な配役は公演当日に発表いたします。

会場：東京文化会館 (上野)

演奏：「椿姫」は東京フィルハーモニー交響楽団、「ジョン・ノイマイヤーの世界」と「ニジンスキー」は特別録音による音源を使用します。

入場料 (税込) S ¥23,000 A ¥20,000 B ¥17,000 C ¥14,000 D ¥11,000 D ¥8,000

先行発売期間に、セットでお買い上げいただくと、最大で9,000円お得!

◆セット券特別割引 [S, A, B席]

・「椿姫」「ニジンスキー」(ジョン・ノイマイヤーの世界)のうち、2演目または3演目を同時に、同一枚数お買い上げいただくと、販売期間中に下記の金額を割引します。

・セット券はS, A, B席を対象とし、公演日およびS, A, B席の別は自由にお選びいただけます。

■NBS WEB チケット先行発売期間(9/15 ~ 9/27) S▶1枚につき3,000円、A▶1枚につき2,500円、B▶1枚につき2,000円

■一斉発売後(10/7以降) S, A, Bとも1枚につき1,000円割引 ※NBSのみ

◆NBS WEB チケット特別先行割引 [S, A, B席単独券] S▶1枚につき2,000円、A▶1枚につき1,500円、B▶1枚につき1,000円

◆ペア割引[S, A, B席] 2枚で1,000円割引
SBS(電話、WEBチケット)のみで発売。

◆親子ペア割引[S, A, B席] お子様(小学生~高校生)が半額
※NBS(電話、WEBチケット)のみで10/17(火)10時から発売。
お席は選べません。

◆エゴノミー券 ¥6,000
ホイープラスのみで12/22(金)より発売、お一人様2枚まで。

◆学生券 ¥4,000
※NBS WEB チケットのみで12/22(金)20時より発売。お席は選べません。
10歳から25歳までの学生が対象。公演当日、学生証を提示ください。

NBS WEBチケット座席選択先行発売 [S~D席]

セット券 9/15 (金) 21:00~9/27 (水) 18:00 単独券 9/20 (水) 21:00~9/27 (水) 18:00

一斉前売開始 10/7 (土) 10:00より

●e+(イープラス) ▶ <http://eplus.jp/> (PC&携帯) ※座席選択先行受付 9/29(金)~10/5(木) ●チケットぴあ ▶ 0570-02-9989 (Pコード: 481-225) <http://pia.jp/t/> (PC&携帯) ※プリセール 9/29(金)~10/5(木)
●ローソンチケット ▶ 0570-000-407 (10時~20時) (Lコード: 32307) 先行受付 9/29(金)~10/5(木) ●東京文化会館チケットサービス ▶ 03-5685-0650

お申し込み
お問い合わせ

NBS WEBチケット <http://www.nbs.or.jp/>

NBS

検索

※ご利用いただく際には、事前に会員登録
(登録料・年会費無料)が必要となります。

NBS チケットセンター 03-3791-8888

平日10:00~18:00、土曜10:00~13:00、日・祝休み

主催：公益財団法人日本舞台芸術振興会/日本経済新聞社

後援：ドイツ連邦共和国大使館



【京都公演】(ジョン・ノイマイヤーの世界)2/17(土) ロームシアター京都 TEL: 075-746-3201

恋を通して自己を見つめる若者たちの、
究極のドラマティック・バレエ

椿 姫

プロローグ付全3幕
アレクサンドル・デュマ・フィスの小説に基づく

音楽:フレデリック・ショパン 振付・演出:ジョン・ノイマイヤー
美術・装置:ユルゲン・ローゼ

19世紀のパリを舞台に、高級娼婦マルグリットと青年アルマンの悲恋を描く「椿姫」。アレクサンドル・デュマ・フィスが24歳で書いたこの青春小説の舞台化としてはヴェルディのオペラが有名ですが、バレエ「椿姫」は、そのオペラを超えたとも称される究極のドラマティック・バレエです。

ノイマイヤーは原作の小説に立ち返り、主人公たちの恋の行方を追うだけでなく、その関係や心理の変化をダンスによって余すところなく表現しました。原作と同時代のパリを生きたショパンの音楽を、時代の空気や主人公たちの心と結びつけながら、緻密にしてドラマティックなバレエを生み出したのです。

白眉は三つの幕それぞれ配された、高度な技術を駆使するマルグリットとアルマンのバ・ド・ドゥ。第1幕は男性の情熱に女性の心がゆさぶられ、第2幕は二人が束の間の幸福な浮遊感に満たされ、第3幕は互いを傷つけあうことで絆を確かめる恋人たちの葛藤が描かれます。

とくに〈バラード第1番〉にのせて恋人たちの壮絶な極限心理を描く第3幕の通称“黒のアダージョ”は、ガラ公演でもたびたび演じられる名ピース。また第1幕で演じられる劇中劇「マノン」が、マルグリットの心の鏡となって、彼女の心のひだをつまびらかにしていくのも、ノイマイヤーの冴えわたる仕掛けです。

本作はパリ・オペラ座バレエ団公演でも強い印象を残しましたが、本家のハンブルク・バレエ団による舞台は、振付家の意図がすみずみまで行き渡る格別なものになることは間違いありません。

Music: Frédéric Chopin
Choreography and Staging: John Neumeier
Set and Costumes: Jürgen Rose



Photo: Holger Badstew

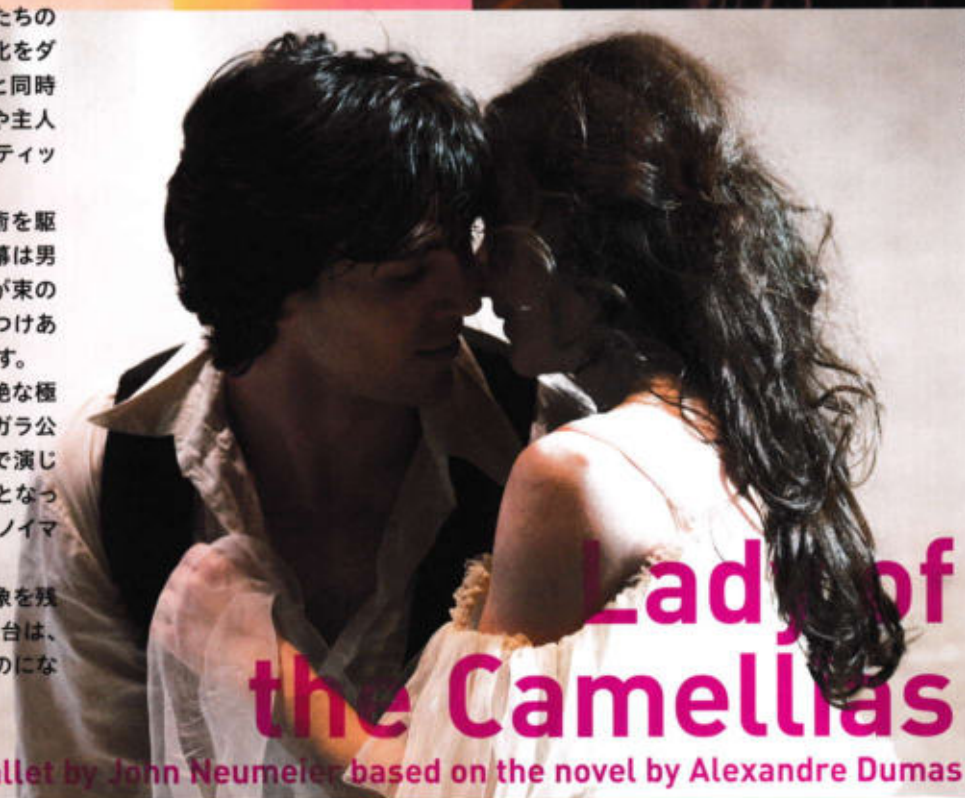


Photo: Kiran West

Lady of the Camellias

Ballet by John Neumeier based on the novel by Alexandre Dumas

Story

パリの劇場で、青年アルマンは思いを寄せていた高級娼婦マルグリットに紹介される。その日はバレエ「マノン」が上演され、2人は登場人物にそれぞれ自分の姿を重ねてみている。その夜、マルグリットの自宅に招かれたアルマンは、発作に苦しむ彼女を介抱し、愛を告白する。恋に落ちたマルグリットは、パトロンである侯爵の庇護を捨て、アルマンとの償ましくも幸福な生活を選びとる。しかしある日、アルマンの父から息子と別れてほしいと頼まれた彼女は、自らを犠牲にして元の娼婦の生活に戻っていく。

マルグリットに裏切られたと信じこみ、あてつけに別の娼婦と付き合うアルマン。すでに不治の病にかかされているマルグリットはアルマンのもとを訪れ、これ以上自分を傷つけないでほしいと懇願する。再び結ばれる二人。しかし「マノン」の幻想がマルグリットを追い詰める。再び自分のもとを去ったマルグリットに、アルマンは衆前で札束を渡すという決定的な侮辱を与える。マルグリットは絶望の中、思いを日記につづっていく。彼女の死後、アルマンはその日記によってすべてを知るのだった。

お願いだから、
これ以上私を傷つけないで。



Photo: Holger Badstew

私の体の中に神がいる。



Music: Frédéric Chopin, Robert Schumann, Nikolai Rimsky-Korsakov, Dmitri Shostakovich
Choreography, Set and Costumes: John Neumeier

column

バレエ・リュスとニジンスキー

1909年、芸術プロデューサーのセルゲイ・ディアギレフは、ロシアのバレエ界の才能を集めて、パリで〈バレエ・リュス〉と題した公演を開催。異国の香りを放つ斬新なバレエはたちまち大評判となる。その舞台の花形スターが、高い跳躍力と演技力、両性具有的なオーラを備えた天才ダンサー、ニジンスキーだった。「シェエラザード」「ばらの精」「ペトルーシュカ」といった作品で観客を魅了したニジンスキーは、自身でも振付を始め、「牧神の午後」「春の祭典」などで革新的な才能をみせて劇場を騒然とさせた。しかしニジンスキーは、愛人で庇護者だったディアギレフに無断でバレエ団の女性口モラと結婚。ディアギレフの怒りを買ひ、バレエ・リュスを解雇される。その後、仕事で不遇をかこつうちに第一次世界大戦が勃発。戦後に一時バレエ・リュスに復帰するが、しだいに精神をむしばまれ、1919年の静養先のホテルでの公演を最後に病院での療養生活に入り、バレエ界から姿を消す。1950年死去。『ニジンスキーの手記』と呼ばれる回想録を残した。



バレエ界の神話を追体験するような、ノイマイヤー渾身のマスターピース!

ニジンスキー

全2幕

音楽:フレデリック・ショパン、ロベルト・シューマン、ニコライ・リムスキー・コルサコフ、ドミトリー・ショスタコーヴィッチ
振付・舞台装置・衣裳:ジョン・ノイマイヤー

1919年1月19日、スイス、サンモリッツのスヴレッタ・ハウス・ホテルのホールで行われた、稀代の天才ヴァスラフ・ニジンスキーの最後の公演。舞台はニジンスキー自身が「神との結婚」と呼んだその公演から始まり、いつしか彼の記憶と幻影の中へと分け入っていきます。

20世紀のはじめ、東方ロシアからやってきて、ヨーロッパの芸術界と社交界をあっという間に魅了した伝説の〈バレエ・リュス〉。その花形スターだったニジンスキーが人々を熱狂させた「シェエラザード」「ばらの精」、彼の革新的な創作の才能をあらわにした「牧神の午後」「遊戯」……。第1幕は、ニジンスキーの分身たち、あるいはニジンスキー自身がこれら伝説の作品の断片を見せながら、バレエ・リュス時代の創造的で華やかで波乱に満ちた彼の人生が巧みに重ねられ、語られていきます。

第2幕は〈バレエ・リュス〉を追われたニジンスキーに、第一次世界大戦の恐怖が押し寄せるさまが描かれます。ニジンスキーの鋭敏な神経はさまざまな幻影を生み出し、ついには兵士たちと、ニジンスキーが演じたキャラクターたち——黄金の奴隷やばらの精、ペトルーシュカらが共に踊り狂う壮絶な「戦争」のダンスに発展。混んとして悲愴なニジンスキーの心の世界へと観る者を飲み込んでいきます。

バレエ界のまぎれもない神話であるニジンスキー。本作は、光と闇が交錯するその人生と魂をまるで追体験するような、ノイマイヤー渾身のマスターピースです!

Ballet by John Neumeier

Nijinsky



「くるみ割り人形」

ノイマイヤー自らが構想・演出、語りも務める、奇跡の一夜!

《ガラ公演》

ジョン・ノイマイヤーの世界

音楽:バーンスタイン、ガーシュウィン、チャイコフスキー、バッハ、
ワーグナー、シュニトケ、ショスタコーヴィチ、ティベツト、ショパン、
サイモンとガーファンクル、マーラー
振付・演出・語り:ジョン・ノイマイヤー

振付家ノイマイヤーが、バレエに魅了された自らの人生と芸術について"語り"ながら、彼の薫陶を受けた高い表現力をほこるハンプルクのダンサーたちが、次々とマスターピースを踊り演じ、やがて壮大な世界が立ち現われてくる奇跡の舞台——、それが(ジョン・ノイマイヤーの世界)です。

「キャンディード序曲」で始まる冒頭は、子ども時代のダンスとの出会いと喜びについて。ついで「ヴェニスに死す」「ペール・ギュント」でダンスを通じた創造について語られ、それらは「マタイ受難曲」や「クリスマス・オラトリオ」の精神世界へと繋がっていきます。後半は「ニジンスキー」「ハムレット」「椿姫」でノイマイヤーの心を動かした題材や人物に触れられ、巨匠の物語バレエの真髄を垣間見せながら、無二の友であった故モーリス・ベジャールとの絆を謳う「作品100—モーリスのために」、そして、「ダンスとは愛するがゆえに行う仕事」という語りとともに、「マーラー交響曲第3番」へとなだれこむ終盤の迫力と感動は圧倒的です。

前回、本作の初演では、大きな感動で満たされた会場が最後に総立ちとなり、涙を浮かべてスタンディング・オベーションを贈る人々の姿も見られたほど。その感動の輪は一夜のうちにSNSを通して広がり、翌日の公演には、当日券売り場に近年類をみない長蛇の列ができるという、伝説の夜を生み出しました。今回は一夜限り。奇跡の舞台をどうぞお見逃しなく!

- 「キャンディード序曲」
- 「アイ・ガット・リズム」
- 「くるみ割り人形」
- 「ヴェニスに死す」
- 「ペール・ギュント」
- 「マタイ受難曲」
- 「クリスマス・オラトリオI-IV」
- 「ニジンスキー」
- 「ハムレット」
- 「椿姫」
- 「作品100—モーリスのために」
- 「マーラー交響曲第3番」より

「キャンディード序曲」



「作品100—モーリスのために」



「ペール・ギュント」



「マーラー交響曲第3番」

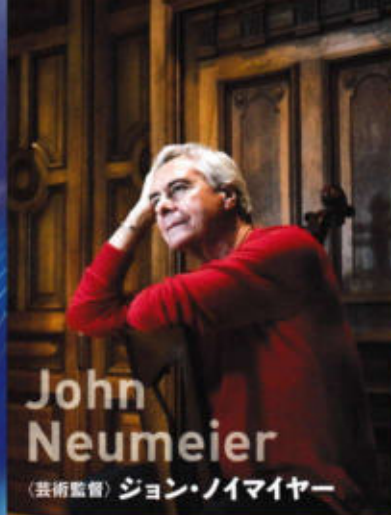
The World of John Neumeier

Choreography, Direction, Narration by John Neumeier

Photo: Rijnout Hasegawa

Hamburg Ballet John Neumeier

ハンブルク・バレエ団



John
Neumeier

(芸術監督) ジョン・ノイマイヤー



Alina
Cojocaru

アリーナ・コジョカル
[ゲスト・アーティスト]

photo: Charlotte MacMillan

来日予定の
主なプリンシパル



Carolina
Agüero

カロリーナ・アグエロ



Silvia
Azzoni

シルヴィア・アッツォーニ



Hélène
Bouchet

エレーヌ・ブシェ



Leslie
Heytmann

レスリー・ヘイルマン



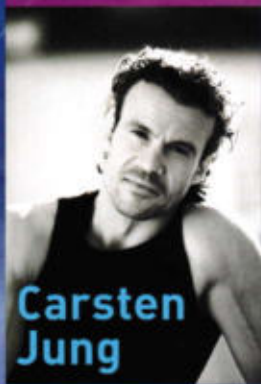
Anna
Laudere

アンナ・ラウテール



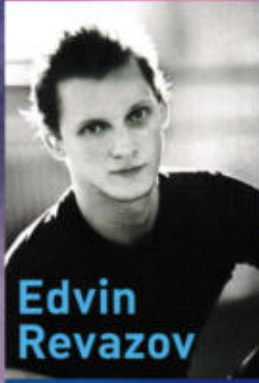
Karen
Azatyan

カレン・アサチャン



Carsten
Jung

カーステン・ユング



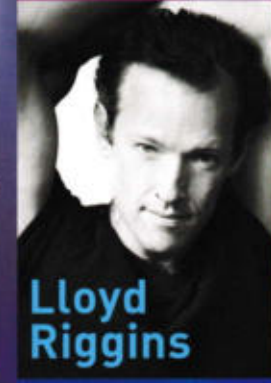
Edvin
Revazov

エドウィン・レヴァツォフ



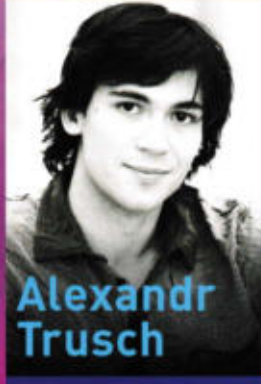
Alexandre
Riabko

アレクサンドル・リアブコ



Lloyd
Riggins

ロイド・リギンズ



Alexandr
Trusch

アレクサンドル・トルーシュ



Ivan
Urban

イヴァン・ウルバン

Photos: Kiran West